

アリの仲間

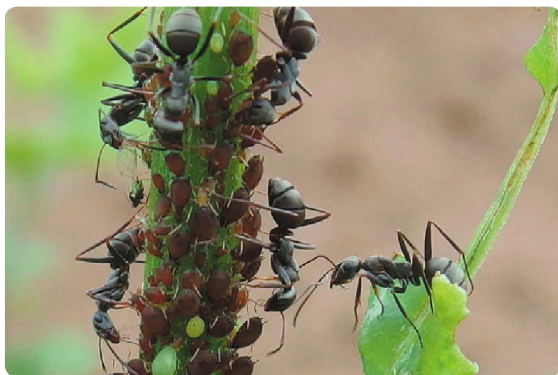
地中、枯木・朽木、石の下などに営巣し、通常は女王アリを中心に多くの働きアリなどとともに社会生活する。基本は肉食で、虫の死骸や小さな虫などを食べる。植物の蜜も好み、アブラムシなどが出す甘露(甘い排泄物)をなめる。



クロオオアリ



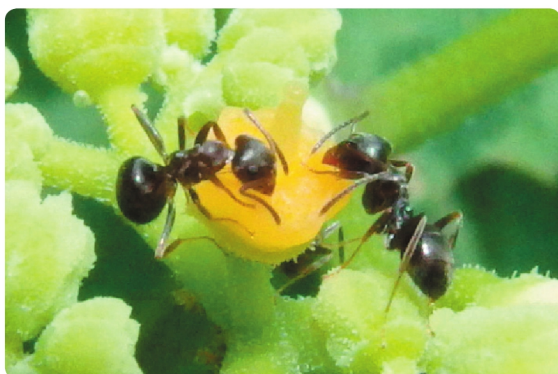
アリ科 体長7～13mm
ごく普通にいる大型で黒色のアリで、地中に営巣する。



クロヤマアリ



アリ科 体長4.5～6mm
最も普通にいる灰色のアリで、地中に営巣する。



トビイロケアリ



アリ科 体長3～4mm
ごく普通に見られる小型の黒褐色のアリで、アブラムシによく群がっている。枯木の中などに営巣する。



アミメアリ



アリ科 体長3～4mm
小型の黒褐色のアリで、頭部と胸部の表面は網目のような凹凸がある。働きアリだけで繁殖する。巣を頻繁に移動させ、大勢で行列していることがある。